

4 水素原子

1 【エネルギー固有値】水素原子の動径部分の Schrödinger 方程式は，電子の換算質量を μ ，電荷を $-e$ とすると

$$\left[-\frac{\hbar^2}{2\mu} \left(\frac{1}{r} \frac{d^2}{dr^2} r \right) + \frac{l(l+1)\hbar^2}{2\mu r^2} - \frac{e^2}{4\pi\epsilon_0 r} \right] R_l(r) = E R_l(r)$$

で与えられる (ただし, $E < 0, l = 0, 1, 2, \dots$)

(1) $R_l(r) = e^{-\frac{\lambda}{2} \rho} L(\rho)$, $\rho = \frac{\sqrt{-8\mu E}}{\hbar} r$, $\lambda = \frac{e^2}{4\pi\epsilon_0 \hbar} \sqrt{-\frac{\mu}{2E}}$ とすると, 動径方程式は

$$\rho \frac{d^2 L(\rho)}{d\rho^2} + (2l + 2 - \rho) \frac{dL(\rho)}{d\rho} + (\lambda - 1 - l)L(\rho) = 0$$

となることを示せ。

(2) $L(\rho) = \sum_{n=0}^{\infty} c_n \rho^n$ を (1) の結果に代入し, $\frac{c_{n+1}}{c_n} = \frac{n+l+1-\lambda}{(n+1)(n+2l+2)}$ を導け。これより, λ は正の整数 ($= n$) であり, $n \geq l+1$ をみたすことを示せ。

(3) エネルギー固有値は, Bohr 半径 $a_0 = \frac{4\pi\epsilon_0 \hbar^2}{\mu e^2} = 0.529 \text{ \AA}$ を用いると

$$E_n = -\frac{e^2}{8\pi\epsilon_0 a_0 n^2}$$

となることを示せ。

2 【波動関数と Laguerre の陪多項式】

(1) 問 1(1) で $\lambda = n$ とおいた動径方程式の解は, Laguerre の陪多項式

$$L_{n+l}^{2l+1}(\rho) = \sum_{k=0}^{n-l-1} (-1)^{k+2l+1} \frac{[(n+l)!]^2 \rho^k}{(n-l-1-k)!(2l+1+k)!k!}$$

で与えられる。これを用いて, $n = 1, 2$ のときの動径波動関数 $R_{nl}(r)$ をすべて求めよ。また, 動径確率密度 $P_{nl}(r) = r^2 [R_{nl}(r)]^2$ が最大値をとるときの r を求め, その概形を横軸を $\frac{r}{a_0}$ として図示せよ。規格化はしないでもよい。

(2) $n = 1$ のとき, 波動関数を規格化せよ。また, r の期待値 $\langle r \rangle$ を求めよ。

(3) ビリアル定理を用いて, $n = 1$ のときの電子の平均 2 乗速度 $\frac{\sqrt{\langle p^2 \rangle}}{\mu}$ が光速 c の約何

分の 1 になるか計算せよ。ただし, $\frac{e^2}{4\pi\epsilon_0} = \frac{\hbar c}{137}$ を用いてよい。